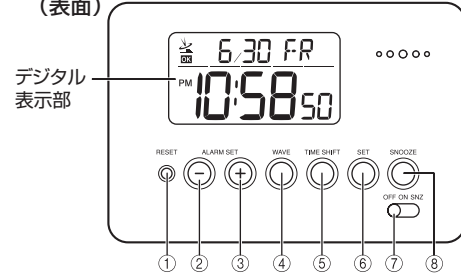
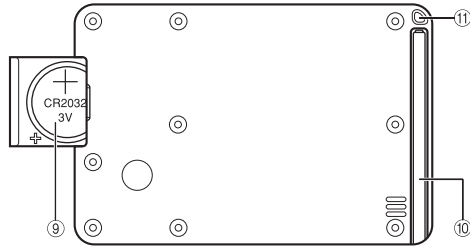
MA0601-A

Operation Guide PQD-100J/100CJ

CASIO

各部の名称と表示の見方

機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。ご使用の前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

（表面）

（裏面　電池ブタを開けたところ）

※ 機種により形状等が異なることがあります。

①ボタン（RESET）
電池交換後、必ず押します。
※リセット操作がしにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

②ボタン（−）、③ボタン（＋）
アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。

④ボタン（WAVE）
押すと電波受信を行ないます（手動受信）。

⑤ボタン（TIME SHIFT）
タイムシフト機能を使うときに使用します。

⑥ボタン（SET）
現在時刻などを合わせるときに使います。

⑦スイッチ（OFF　ON　SNZ）
アラームのオフ／オン／スヌーズの切り替えができます。

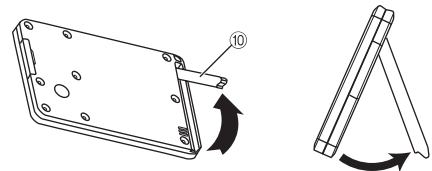
⑧ボタン（SNOOZE）
アラーム報音中に押すと音が止まります。

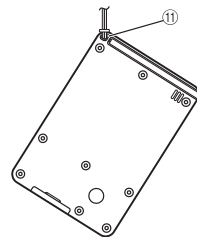
⑨電池
⊕⊖を間違えないように入れてください。

⑩スタンド
スタンドを起こすと本機を置いて使うことができます。

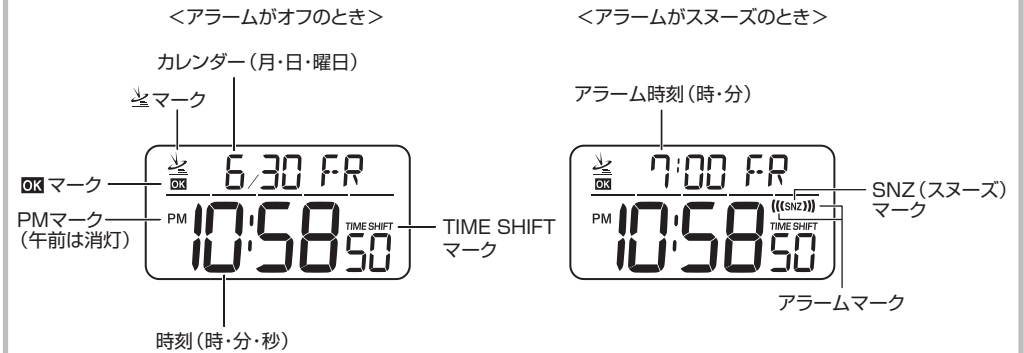
⑪ストラップ穴
持ち運ぶ際、お手持ちのストラップを通して使うことができます。
※ストラップは付属しておりません。

＜スタンドの使い方＞

裏面のスタンドを起こすと本機を置いて使うことができます。
※スタンドを閉じる時は、クリック感があるまで押し込んでください。

＜ストラップ穴の使い方＞

持ち運ぶ際、お手持ちのストラップを通して使うことができます。
※ストラップは付属しておりません。

＜専用ケースの使い方＞

本機をそのまま鞄などに入れると傷つきの原因になります。
付属の専用ケースに入れてお持ち運びください。

●デジタル表示の見方

電源について

●本機はコイン形リチウム電池（CR2032）を 1 個使用します。
●電池はできるだけ“カシオ指定の電池”または同等品をご使用ください。
●本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

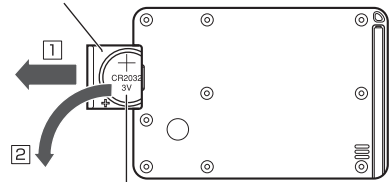
お願い
機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

■ 電池交換のしかた（電池は全て交換してください）

(1) 電池ブタを開け、古い電池を取り出します（「電池ブタの開け方」参照)。
(2) 新しい電池の ⊕ ⊖ を間違えないように入れます。
(3) 電池ブタを元に戻します。
(4) ① ボタンを押します。
　※ アラーム等は再度セットし直してください。

●電池ブタの開け方

電池ブタを開けるときは下記のように開けてください。

電池ブタ　（裏面　電池ブタを開けたところ）

⑨電池
※電池は本機裏面側が+になります。

1 電池ブタを矢印の方向へ引き出します。
2 電池を取り出します。

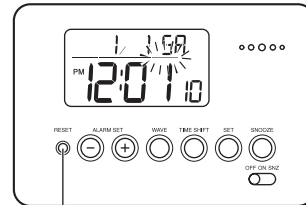
（表面）

①ボタン
※リセット操作がしにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください)。

※ 機種により形状等が異なることがあります。

<ご注意>

●電池の ⊕⊖ の向きは正しく入れてください。
●電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。
　このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします)。
　• 誤動作（時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
　• 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
　• アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
●お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
　* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
※ 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

本機の使い方

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます（「電池交換のしかた」参照）

電池ブタを引き出し、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。電池を入れたら、電池ブタを元に戻します。

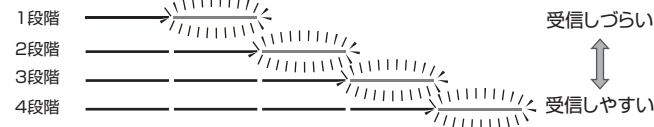
（裏面　電池ブタを開けたところ）
電池ブタ
⑨電池
※電池は本機裏面側が+になります。

2 リセット操作を行ないます（①ボタンを押します）

➟ 時刻表示が「PM 12：00 00」となります。
※電池交換を行なったあとは、必ず①ボタンを押してください。

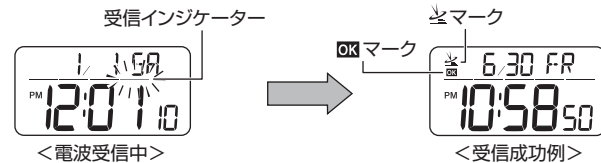
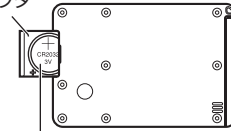
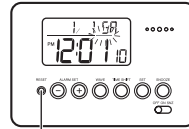
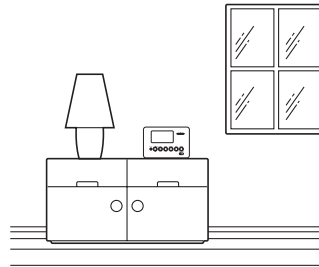
（表面）
①ボタン
※リセット操作がしにくい場合は先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。

3 本機を電波受信しやすいところに置きます

「午後12：01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないますので、窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。
※受信中は受信インジケーターで受信状態をお知らせします。

- 受信開始後、受信状態により段階的に変化します（4段階）。
- 受信しやすい場所でも4段階まで表示するのに約4秒程度かかります。
- 天候、時間、環境等により電波の状態は変化します。
- 受信インジケーターは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

※受信成功まで約４～14分かかります。
※受信中はボタン操作を行なわないでください。

➡ **受信成功**

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻／月日（曜日）に修正されます。また、OKマークおよび マークが点灯して受信成功をお知らせします。
※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。
※場合により「時」「分」「秒」のみ表示することがありますが、その後受信に成功すれば、「月」「日」「曜日」も正しく表示されます。

＜電波受信中＞　＜受信成功例＞

➡ **受信できない** … 時刻修正は行ないません。

約14分後に受信は止まります。
※このときは、本体の向きや置き場所を変えて④ボタンを押すか、②ボタン、③ボタンで時刻を合わせてから④ボタンを押して、もう一度受信開始させてください（「時刻の合わせ方」参照）。
- ④ボタンを押すと、電波受信を開始します。…手動受信

※④ボタンを押さなくても「午後２：01」になると、再び自動受信を開始します。
電波受信は午前２：01、午前３：01、午前６：01，午前10：01、午後２：01、午後６：01、午後10：01（計７回／日）に行ないます。
※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

4 1～2週間電波受信の様子を見ます

本機は午前2:01、午前3:01、午前6:01，午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01（計7回／日）に電波受信を自動的に行ないます。

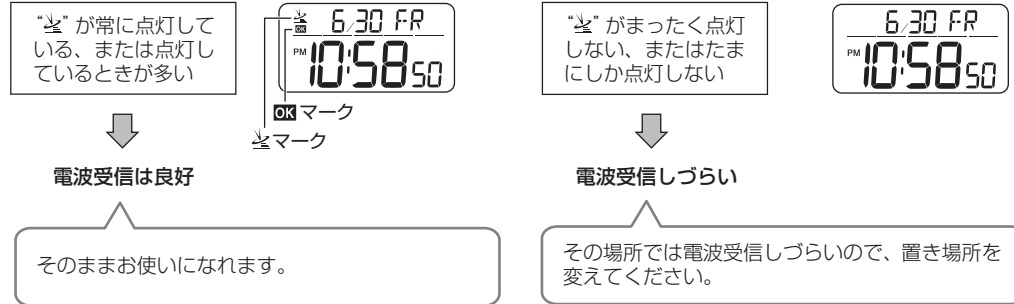
“ ”が常に点灯している、または点灯しているときが多い

電波受信は良好

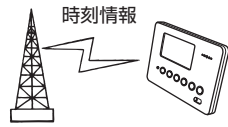
そのままお使いになれます。

“ ”がまったく点灯しない、またはたまにしか点灯しない

電波受信しづらい

その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

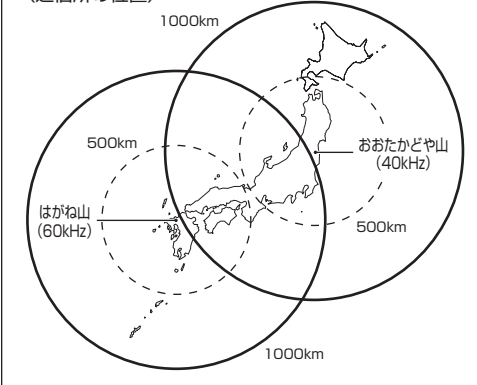
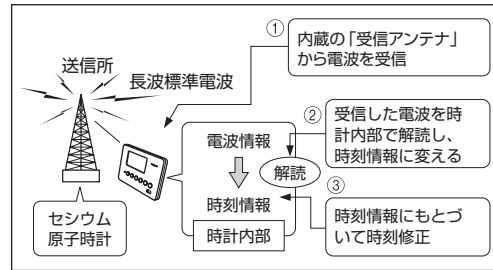
> 電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

●標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」（60kHz）から送信されています。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

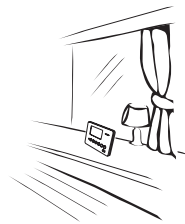
条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

●受信のしくみ

●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」（40kHz）と「はがね山標準電波送信所」（60kHz）の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます（自動選局機能）。通常は7回／日に電波受信を自動的に行ないます（自動受信）。

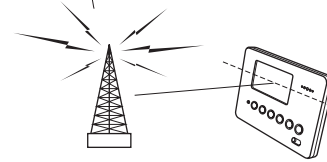
※1回の受信は約2～14分間（リセット直後は約4～14分間）です。
※受信に成功すると、すぐに正しい時刻／月日（曜日）に修正されます。また、OKマークおよび受信マークが点灯して受信成功をお知らせします。

OKマーク…最新の電波受信が成功していることを表します。
※次回受信時に消灯します。

受信マーク…1日1回以上、電波受信が成功していることを表します。(正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります)
※ただし、受信成功していても午前2時と午前3時になると一度消灯します。その後受信成功すると、再び点灯継続します。

＜正しく受信するために＞

○電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。
○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい設置のしかた

・時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする
・金属板の上などを避けて窓際で行なう

○受信中（受信インジケーター表示中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中に④ボタンを押すと、受信を中断します。

＜ご注意＞

○②ボタン、③ボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に④ボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。
○アラームオンでアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません（例：アラーム時刻＝午前6時15分のとき、午前6時1分の自動受信は行ないません）。
○電波受信を行なわない間は、月差±30秒以内の精度で計時します。
○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）
※但し、窓ぎわで使用すると受信しやすくなります。

高圧線、架線の近く

乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）

家庭電化製品、ＯＡ機器のそば、金属板の上
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）

電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど）

山の裏側…など

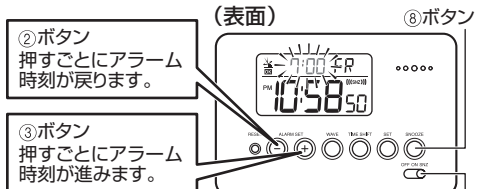
アラームの使い方

アラーム時刻をセットしておくと、毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。本機のアラームは以下のような機能があります。
- スヌーズアラーム

1 アラーム時刻のセット（② ボタンまたは ③ ボタンを押します）

② ボタン、③ ボタンを使って、アラーム時刻をセットすることができます。

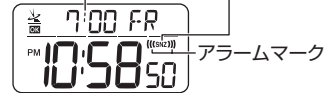
<アラームがオフの場合>

②ボタンまたは ③ボタンを1回押すと、「月日表示」が「アラーム時刻表示」に切り替わり点滅表示となります。アラーム時刻の表示中に再度、②ボタンまたは③ボタンを押すとアラーム時刻のセットができます（セット終了後、数秒で自動的に「月日表示」に戻ります）。

※押し続けると早送り／戻しができます。
※機種により形状等が異なることがあります。

<アラームがオンまたはスヌーズの場合>

②ボタンまたは③ボタンを押すとアラーム時刻が点滅します。再度、② ボタンまたは ③ ボタンを押すとアラーム時刻のセットができます（セット終了後、自動的に点灯表示に戻ります）。

電波受信中に ② ボタンまたは ③ ボタンを押すと、電波受信は中断されます。

<アラームがスヌーズのとき（通常状態）>

2 アラームのスヌーズ／オン／オフ設定（⑦ スイッチで設定します）

⑦ スイッチの位置でアラームのスヌーズ／オン／オフが選べます。

⑦スイッチ	鳴り方
SNZ ((((SNZ)))) 点灯)	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴り、約5分おきに7回報音を繰り返します。なお⑧ボタンで音を止めても再び鳴り出すスヌーズアラームです。※SNZマークが点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります(スヌーズアラーム機能中)。
ON ((((　))) 点灯)	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
OFF	アラームセット時刻になってもアラーム音は鳴りません。

※ アラーム音は 1 分間 5 段階でだんだん変化します。

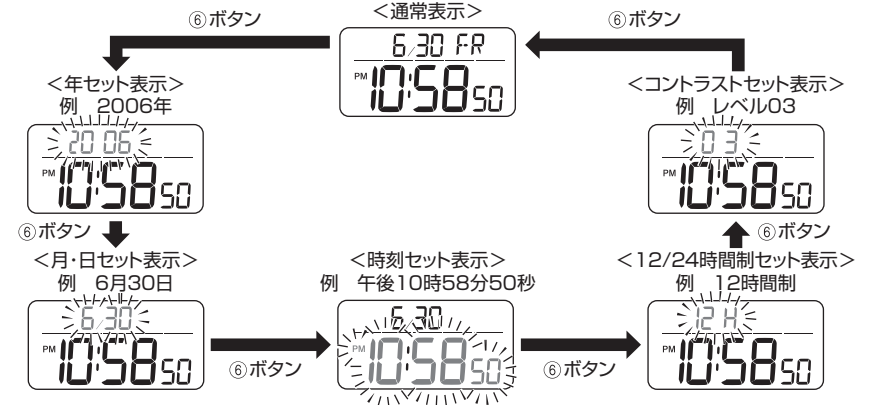
●鳴っているアラーム音を止めるには

- 鳴っているアラーム音を止めるには、⑧ ボタンを押します（スヌーズアラームのときは再び鳴ります）。
- スヌーズアラーム機能を解除するには、⑦スイッチを“オフ”にします。

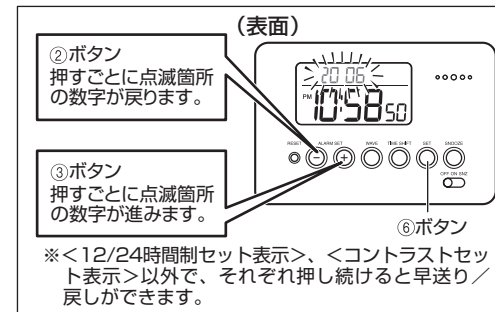
時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後 24 時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

1 セット表示に切り替えます（⑥ ボタンを押します）

押すごとに以下の順で表示が切り替わります。セットしたい表示に切り替えます。

2 カレンダーや時刻等のセットを行ないます（② ボタン、③ ボタンを押します）

点滅箇所のセットができます。

※<12/24時間制セット表示>、<コントラストセット表示>以外で、それぞれ押し続けると早送り／戻しができます。

- 年は2000年～2099年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。
- <時刻セット表示>のときはボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで 00 秒になります。
- < 12/24 時間制セット表示>のときはボタンを押すごとに、12 時間制表示と 24 時間制表示とが切り替わります。
- <コントラストセット表示>のときはボタンを押すごとに数字が1つずつ進み（戻り）、濃度が16段階で調整できます（リセット操作後は04になっています）。

01　薄い　←・・・　04　・・・→　濃い　16

3 通常表示に戻します（⑥ボタンを押します）

セットが終わりましたら、⑥ ボタンを押して<通常表示>に戻します。
※ セット状態で何も操作しないと、約 3 分後に自動的に<通常表示>に戻ります。

タイムシフト機能の使い方

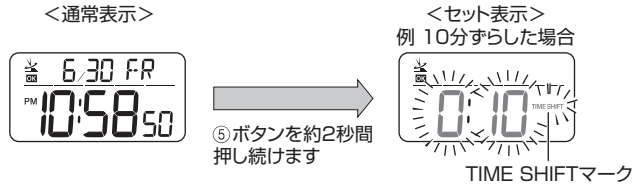
本機は電波受信した時刻を基にして表示する時刻をずらして使うことができます。
以下の場合などに便利です。
例 ・受信した時刻より時計を 10 分進ませて使いたい場合
・時差分をずらして海外時刻を表示させたい場合
※ タイムシフト機能使用中はアラームはタイムシフトした時刻（表示中の時刻）に合わせて機能します。

1 セット表示に切り替えます
（アラームオフの時に ⑤ ボタンを約 2 秒間押し続けます）

＜通常表示＞

⑤ボタンを約2秒間押し続けます

＜セット表示＞
例 10分ずらした場合

TIME SHIFTマーク

2 ずらしたい時間のセットを行ないます
（② ボタン、③ ボタンを押します）

※押し続けると 1 分毎の早送り／戻しができます。
※ずらせる時間は現在の時刻より－23時間59分～＋23時間59分の範囲になります。
※セット単位は1分単位です。

3 通常表示に戻します
（⑤ ボタンを押します）

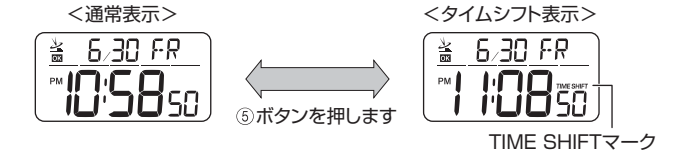
セットが終わりましたら、⑤ ボタンを押して＜通常表示＞に戻します。
時刻はセットした時間分だけずれて表示を行ないます。
※ タイムシフト表示では TIME SHIFT マークが点灯します。
※ セット状態で何も操作をしないと、約3分後に自動的に＜通常表示＞に戻ります。

＜通常表示＞と＜タイムシフト表示＞は⑤ボタンを押すごとに切り替えることができます。

＜通常表示＞

⑤ボタンを押します

＜タイムシフト表示＞

TIME SHIFTマーク

※アラームがオン／スヌーズの場合は誤操作を防ぐ為、タイムシフト切替は行なえません。